

10月の子どもたち



元気いっぱいのおめ組さんは、公園に行った際にはトンボを追いかけたり、どんぐりを拾ったりと秋ならではの遊びを楽しむ姿が見られました。又、最近、身の回りのことを自分でするという気持ちが少しずつできて、衣服の着脱やスプーンの持ち方（下持ちや三点持ち）を意識して食事をする姿が見られるようになってきました。

子ども達の成長を温かく見守っていきたいと思います。

“友だち”という存在が気になり、遊びを真似したり、一緒に遊んでみたりと、月齢によって様々ですが、友だちと関わろうとする姿が増えてきただいち組さんです。

“何をしているのかな”“おもしろそう”と遊んでいる様子を、じっと見て同じことをしてみるところから始まります。

保育士から少しずつ離れていく姿に、成長を感じて嬉しい反面、さみしくもあります。



新しいお友だちが増え、保育室がより一層明るくなりました。

ある日のうみ組。保育者の膝に座っていたら、お友だちが近づいてきて「や～」と両手をパタパタさせて気持ちを表現したり、椅子を2つ並べると「やや」したり…

でも、2人一緒に膝の上に座ってから椅子を並べると、何事もなかったように自然に座れるのです。その様子を7カ月のお友だちが腹ばいになりながらニコ顔で見えています😊それぞれに友だちを意識し始め、可愛い関りが展開されています。それぞれの気持ちに寄り添いながら、お友だちとの関わり方を伝えていきたいと思います。

2020.10